

建物状況調査 報告書

建物名称	共同住戸サンプル(住戸単位)
調査実施日	2018年7月30日
受付番号	TMXX190310683A



株式会社住宅あんしん保証

SAMPLE 

<https://www.j-anshin.co.jp/>

調査概要

本調査は、株式会社住宅あんしん保証が、国の登録を受けた既存住宅状況調査技術者講習を修了した建築士（既存住宅状況調査技術者）により、既存住宅状況調査方法基準に基づき行った「建物状況調査」です。

また、住宅あんしん保証の「現場検査基準」に則した検査も兼ねて実施しております。

【報告書の項目】

1. 主な調査の項目と手順
 2. 建物状況調査の結果の概要
 3. 検査チェックシート
 4. 検査写真シート
 5. 指摘事項シート (劣化事象等ありの場合)
 6. 指摘事項写真シート (劣化事象等ありの場合)
 7. 検査完了証 (指摘事項なしの場合)
- 別添 ① 建物状況調査の結果の概要 (重要事項説明用)
② シロアリ検査報告書 (シロアリ損害担保特約を前提とした検査を実施した場合)

【総合判定結果】

調査種別	総合判定
建物状況調査	劣化事象等あり
既存住宅売買瑕疵保険	不適合(指摘事項の改善が必要です)※

※シロアリ検査で「蟻害あり」の場合、特約の取下げ手続きが必要です。

<注意事項>

1. 本報告書は、調査実施時点の状況について記載されたものです。建物状況調査は調査実施後1年間は重要事項説明の対象とされていますが、必ずしも報告書の内容と売買時の状況が一致するものではないことについて、ご注意ください。
2. 調査依頼者の同意により、提供された資料を調査の実施、結果の報告、を目的として本報告書で利用しています。
3. 「建物状況調査の内容」と「結果の概要についての注意事項」に「7. 後」の「7. 建物状況調査の結果の概要」に引き続いて説明の記載がありますので、必ず合わせてご確認ください。よろしくお願いいたします。



■ 主な調査項目と手順

主な調査項目と手順は次のとおりです。調査は目視・計測・書類等により行います。



共同住宅の場合(RC造) 住戸単位検査プラン

1 建物の外周を確認します。

- 基礎のコンクリート部分のクラック等を確認(幅0.5mm以上のひび割れ等)
- 外壁タイル等のひび割れを確認(下地まで到達するひび割れ、欠損、浮き、はらみ、剥落等)

2 住戸内を確認します。

- 室内の壁、天井等での雨漏り跡を確認
- 床、柱等で著しい傾斜の有無を確認
(6/1,000以上の勾配)



3 バルコニー側からの外壁を確認します。

- 外壁タイル等のひび割れを確認
(下地まで到達するひび割れ、欠損、浮き、はらみ、剥落等)



4 コンクリート圧縮強度について、目立たないコンクリート壁部分で非破壊検査をします。

- リバウンドハンマーによる非破壊検査を実施し圧縮強度を推定
 - ・1999年(平成11年)5月以降に確認済証および検査済証の交付を受けている場合は実施不要です。
 - ・非破壊検査の測定時に住棟の一定の範囲に打撃音(ハンマーで叩くような音)が複数回響きます。



5 給排水管路を確認します。

【給排水管路を調査の対象とするオプションの申込みがある場合】

- 水栓より水やお湯を流し、給水管、給湯管、排水管等に水漏れ、詰り、逆流、あふれが無いかなどを確認



建物状況調査の結果の概要（調査報告書用） 【鉄筋コンクリート造等】

作成日 2018/04/16

建物	建物名称	共同住戸サンプル(住戸単位)		
	所在地	広島市佐伯区古見園105-48		<input type="checkbox"/> 住居表示 <input checked="" type="checkbox"/> 地名地番
	(共同住宅の場合)	マンション等の名称	住宅あんしんマンション	部屋番号 302 号室
	構造種別	<input checked="" type="checkbox"/> 鉄筋コンクリート造 <input type="checkbox"/> 鉄骨鉄筋コンクリート造 <input type="checkbox"/> その他(混構造等)		
	階数	地上 10 階・地下 0 階	延床面積	54.00 m ²
建物状況調査	本調査の実施日	2018年7月30日		
	調査の区分	<input type="checkbox"/> 一戸建ての住宅 <input checked="" type="checkbox"/> 共同住宅等 (<input checked="" type="checkbox"/> 住戸型 <input type="checkbox"/> 住棟型)		
	劣化事象等の有無	建物状況調査基準に基づく劣化事象等の有無 (下の『各部位の劣化事象等の有無』欄も記入すること) <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無		
	各部位の劣化事象等の有無 ※調査対象がない部位は二重線で隠すこと	<構造耐力上主要な部分に係る調査部位> 劣化事象等 有 無 調査できなかった 基礎 <input type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 床 <input type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 柱及び梁 <input type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 外壁 <input type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> バルコニー及び共用廊下 <input type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 内壁 <input type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 天井 <input type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> その他 (記簿調査) <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> (コンクリート圧縮強度) <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/>	<雨水の浸入を防止する部分に係る調査部位> 劣化事象等 有 無 調査できなかった 外壁 <input checked="" type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 内壁 <input checked="" type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 天井 <input type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 屋根 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	
建物状況調査実施者(事務局)	調査実施者の氏名	安心 太郎		
	調査実施者への講習の実施講習機関名及び修了証明書番号	住宅瑕疵担保責任保険協会	第01-17-00132号	
	建築士資格種別	<input checked="" type="checkbox"/> 一級 <input type="checkbox"/> 二級 <input type="checkbox"/> 木造		
	建築士登録番号	国土交通	<input checked="" type="checkbox"/> 大臣登録 第 310036 号 <input type="checkbox"/> 知事登録	
	所属事務所名	一級建築士事務所 株 社 あんしん保		
	建築士事務所登録番号	東京都	<input type="checkbox"/> 知事登録	61000000
建物状況調査実施者(現地)	調査実施者の氏名	田中 太郎		
	調査実施者への講習の実施講習機関名及び修了証明書番号	公益社団法人 日本建築士会連合会	第123456-7号	
	建築士資格種別	<input checked="" type="checkbox"/> 一級 <input type="checkbox"/> 二級 <input type="checkbox"/> 木造		
	建築士登録番号	国土交通	<input checked="" type="checkbox"/> 大臣登録 第 1234567890 号 <input type="checkbox"/> 知事登録	
	所属事務所名	〇〇設計事務所		
	建築士事務所登録番号	広島県	知事登録	第 9876543210 号
耐震性に関する書類の確認		<input type="checkbox"/> 適合 <input checked="" type="checkbox"/> 不適合 <input type="checkbox"/> 不明	確認した書類の名称	確認済証



注意事項等

■建物状況調査の内容（共通事項）

本調査は、既存住宅状況調査方法基準（平成29年国土交通省告示第82号）に適合する既存住宅状況調査であり、調査対象となる住宅について、目視を中心とした非破壊調査により、劣化事象等の状況を把握するものです。

そのため、本調査では次の行為は行っておりません。

- ①設計図書等との照合をすること
- ②現行建築基準関係規定の違反の有無を判定すること
- ③耐震性や省エネ性等の住宅にかかる個別の性能項目について当該住宅が保有する性能の程度を判定すること
- ④劣化事象等が建物の構造的な欠陥によるものか否か、欠陥とした場合の要因が何かといった瑕疵の有無または原因を判定すること

■建物状況調査の結果の概要（調査報告書用）についての注意事項（共通事項）

1. 本調査結果は瑕疵の有無を判定するものではなく、瑕疵がないことを保証するものでもありません。
2. 本調査結果の記載内容について、調査時点からの時間経過による変化がないことを保証するものではありません。
3. 住宅には、経年により劣化が生じます。本調査結果の判定をもって、住宅の経年による通常の劣化が一切ないことを保証するものではありません。なお、住宅に生じている経年劣化の状態は過去のメンテナンスの実施状況等により異なります。
4. 本調査結果は建築基準関係法令等への適合性を判定するものではありません。
5. 本調査結果の一部または全部を、無断で複製、転載、加工、模造及び偽造することを禁じます。
6. 本調査と付随して行われる業務およびサービス（仲介・媒介およびリフォーム工事等）に係る調査概要、費用の見積りならびに改修工事の方法等が提示される場合は、その内容と本調査結果とは関係ありません。

■本調査結果についての注意事項（個別事項）

1. 調査対象となった住宅の売買、交換または賃借（以下「売買等」という。）を行う場合には、本調査結果を、当該売買等に係る宅地建物取引業法（昭和27年法律第176号）第35条の規定による重要事項の説明等（以下「重要事項説明等」という。）に用いるため、当該売買等を媒介する宅地建物取引業者に提供することがあります。
2. 委任者（承諾を得た者を含む）は、調査を実施した日から1年以内に調査対象となった住宅の売買等が行われる場合、重要事項説明等を補足する目的で、調査者に対し、本調査結果の再説明に関する依頼をすることができます。

SAMPLE



検査項目(1/3)

鉄筋コンクリート造

検査内容	既存住宅個人間売買瑕疵保険(仲介事業者コース)	住宅分類	共同住宅(住戸)
------	-------------------------	------	----------

検査項目

 検査員チェック欄 凡例:「適合:○」、「不適合:×」、「該当なし:／」、「不明・未確認:未」
 確認方法:()内の確認方法は、補足確認を実施した場合を示す。

項目	内容	検査員 チェック欄	確認方法
外部01 基礎 (立ち上がり 部分を含む)	《構造》	①幅0.5mm以上のひび割れがない事 (モルタル仕上げ等に発生したひび割れは除く) (モルタル厚は通常10mm程度で判断する)	○ <input checked="" type="checkbox"/> 目視 <input type="checkbox"/> 計測
		②深さ20mm以上の欠損がない事 (モルタル仕上げ等に発生した欠損は除く) (モルタル厚は通常10mm程度で判断する)	○ <input checked="" type="checkbox"/> 目視 <input type="checkbox"/> 計測
		③コンクリートの著しい劣化がない事 (ジャンカ、豆板又は幅0.5mm未満のひび割れ、深さ20mm未満の欠損が広範囲に発生していない事)	○ <input checked="" type="checkbox"/> 目視 <input type="checkbox"/> 打診
		④さび汁(白華を含む)を伴うひび割れ、欠損がない事	○ <input checked="" type="checkbox"/> 目視
		⑤鉄筋の露出がない事	○ <input checked="" type="checkbox"/> 目視 <input type="checkbox"/> 計測
外部02 外壁	《構造》	①幅0.5mm以上のひび割れ(塗装仕上げ等部分のひび割れは除く)がない事	○ <input checked="" type="checkbox"/> 目視 <input type="checkbox"/> 計測
		②深さ20mm以上の欠損(塗装仕上げ等部分の欠損は除く)がない事	○ <input checked="" type="checkbox"/> 目視 <input type="checkbox"/> 計測
		③コンクリートの著しい劣化がない事 (ジャンカ、豆板又は幅0.5mm未満のひび割れ、深さ20mm未満の欠損が広範囲に発生していない事)	○ <input checked="" type="checkbox"/> 目視 <input type="checkbox"/> 打診
		④さび汁(白華を含む)を伴うひび割れ、欠損がない事	○ <input checked="" type="checkbox"/> 目視
		⑤鉄筋の露出がない事	○ <input checked="" type="checkbox"/> 目視 <input type="checkbox"/> 計測
	《構造》	①下地材まで到達するひび割れ、欠損、浮き、はらみ又は剥落がない事	○ <input checked="" type="checkbox"/> 目視 <input type="checkbox"/> 計測
		②複数のタイル等にまたがったひび割れ又は欠損がない事	○ <input checked="" type="checkbox"/> 目視 <input type="checkbox"/> 計測
		③仕上材の著しい浮きがない事	○ <input checked="" type="checkbox"/> 目視 <input type="checkbox"/> 打診
	《雨水》※1	①シーリング材の破断、欠損又は著しいひび割れがない事(開口部又は外部付属品との取合部も含む)	× <input checked="" type="checkbox"/> 目視
		②建具の周囲の隙間又は建具の著しい開閉不良(建具障子等の調整範囲である場合は除く)がない事	○ <input checked="" type="checkbox"/> 目視 <input type="checkbox"/> 操作
外部03 屋根	《雨水》※1	①勾配屋根の場合、屋根葺き材の著しい破損、ずれ、ひび割れ、劣化、欠損、浮き、はがれ又は水切り金物等の不具合がない事(※2)	/ <input checked="" type="checkbox"/> 目視
		②陸屋根の場合、防水層の著しいひび割れ、劣化、欠損又は水切り金物等の不具合又は排水に影響する排水口廻りの堆積物がない事(※2)	/ <input type="checkbox"/> (小屋裏点検口)
備考	※1: 検査依頼書で長期修繕計画書「なし」にチェックがある場合のみ検査を実施する。 ※2: 外部から目視が不可能な場合は、最上階天井の点検口等の開口を利用して屋根裏の目視を行う。		

SAMPLE



検査項目(2/3)

鉄筋コンクリート造

検査内容	既存住宅個人間売買瑕疵保険(仲介事業者コース)	住宅分類	共同住宅(住戸)
------	-------------------------	------	----------

検査項目

 検査員チェック欄 凡例:「適合:○」、「不合格:×」、「該当なし:／」、「不明・未確認:未」
 確認方法:()内の確認方法は、補足確認を実施した場合を示す。

項目	内容	検査員 チェック欄	確認方法
外部04 バルコニー・ 共用廊下	①支持部材又は床の著しいぐらつき、ひび割れ又は劣化(さび汁等又は鉄筋の露出を含む)がない事 ※支持部材とは、当該部分が構造耐力上主要な部位である場合	○	<input checked="" type="checkbox"/> 目視 <input type="checkbox"/> 計測 <input checked="" type="checkbox"/> (歩行)
外部05 確認状況	A. 基礎の過半が目視確認できない部位・面があった ※確認できなかった面をチェック欄に記入	/	<input checked="" type="checkbox"/> 目視
	B. 外壁の過半が目視確認できない部位・面があった ※確認できなかった面をチェック欄に記入	/	
改修01 耐力壁	①設計図書等に基づき、耐力壁の新設又は撤去工事が適切に施工されている事	/	<input type="checkbox"/> 目視 <input type="checkbox"/> 書類
改修02 柱、梁	①設計図書等に基づき、柱、梁の新設又は撤去工事が適切に施工されている事	/	<input type="checkbox"/> 目視 <input type="checkbox"/> 書類
改修03 屋根	①設計図書等に基づき、屋根の防水層の新設又は撤去工事が適切に施工されている事	/	<input type="checkbox"/> 目視 <input type="checkbox"/> 書類
改修04 外壁	①設計図書等に基づき、外壁の防水層の新設又は撤去工事が適切に施工されている事	/	<input type="checkbox"/> 目視 <input type="checkbox"/> 書類
共通03 非破壊検査	①コンクリート圧縮強度 コンクリートの圧縮強度不足がない事 ※リバウンドハンマーによる非破壊検査を実施し算定を行う(別紙)	○	リバウンドハンマー等

SAMPLE



検査項目(3/3)

鉄筋コンクリート造

検査内容	既存住宅個人間売買瑕疵保険(仲介事業者コース)	住宅分類	共同住宅(住戸) ※専有部分
------	-------------------------	------	-------------------

検査項目

 検査員チェック欄 凡例:「適合:○」、「不適合:×」、「該当なし:／」、「不明・未確認:未」
 確認方法:()内の確認方法は、補足確認を実施した場合を示す。

項目	内容	検査員 チェック欄	確認方法
外部01 外壁	①シーリング材の破断、欠損又は著しいひび割れがない事(開口部又は外部付属品との取合部も含む)	○	<input checked="" type="checkbox"/> 目視
	②建具の周囲の隙間又は建具の著しい開閉不良(建具障子等の調整範囲である場合は除く)がない事	○	<input checked="" type="checkbox"/> 目視 <input checked="" type="checkbox"/> 操作
外部02 バルコニー	①支持部材又は床の著しいぐらつき、ひび割れ又は劣化(さび汁等又は鉄筋の露出を含む)がない事 ※支持部材とは、当該部分が構造耐力上主要な部位である場合	○	<input checked="" type="checkbox"/> 目視 <input type="checkbox"/> 計測 <input type="checkbox"/> (歩行)
内部01 内壁 (コンクリート打 放し、塗装仕上 げ)	①幅0.5mm以上のひび割れ(塗装仕上げ等部分のひび割れは除く)がない事	○	<input checked="" type="checkbox"/> 目視 <input type="checkbox"/> 計測
	②深さ20mm以上の欠損(塗装仕上げ等部分の欠損は除く)がない事	○	<input checked="" type="checkbox"/> 目視 <input type="checkbox"/> 計測
	③コンクリートの著しい劣化がない事 (ジャンカ、豆板又は幅0.5mm未満のひび割れ、深さ20mm未満の欠損が広範囲に発生していない事)	○	<input checked="" type="checkbox"/> 目視 <input type="checkbox"/> 打診
	④さび汁(白華を含む)を伴うひび割れ、欠損がない事	○	<input checked="" type="checkbox"/> 目視
	⑤鉄筋の露出がない事	○	<input checked="" type="checkbox"/> 目視 <input type="checkbox"/> 計測
	①雨漏りの跡がない事	×	<input checked="" type="checkbox"/> 目視
内部02 天井 (コンクリート打 放し、塗装仕上 げ)	①コンクリートの著しい劣化がない事 (ジャンカ、豆板又は幅0.5mm未満のひび割れ、深さ20mm未満の欠損が広範囲に発生していない事)	○	<input checked="" type="checkbox"/> 目視
	②さび汁(白華を含む)を伴うひび割れ、欠損がない事	○	<input checked="" type="checkbox"/> 目視
	③鉄筋の露出がない事	○	<input checked="" type="checkbox"/> 目視
	①天井部分に雨漏りの跡がない事	○	<input checked="" type="checkbox"/> 目視
内部03 柱、梁	①著しいひび割れ、劣化又は欠損(さび汁、エフロレッセンス又は鉄筋の露出を含む)がない事	○	<input checked="" type="checkbox"/> 目視 <input type="checkbox"/> 計測
	②柱に著しい傾斜がない事 ※全ての部屋(浴室、洗面室、トイレ、納戸等を除く)の外壁面側を計測 計測値が6/1,000以上の面は、さらにその上下を計測 3点の平均値が6/1,000以上の場合、不適合とし、図面に計測値を記入 ※計測値を記入した図面はシステムに添付	○	<input checked="" type="checkbox"/> 目視 <input type="checkbox"/> 計測
内部04 床	①著しいひび割れ、劣化又は欠損(さび汁、エフロレッセンス又は鉄筋の露出を含む)がない事	○	<input checked="" type="checkbox"/> 目視 <input type="checkbox"/> 計測
	②床に勾配が6/1,000以上の傾斜がない事 ※全ての部屋(浴室、洗面室、トイレ、納戸等を除く)の中央付近(直行す 方向)を計測 計測値が6/1,000以上の床は、さらにその上下の箇所を計測 3点の平均値が6/1,000以上の場合、不適合とし、図面に計測値を記入 ※計測値を記入した図面はシステムに添付	○	<input checked="" type="checkbox"/> 計測

SAMPLE





検査項目(1/1)

鉄筋コンクリート造

検査内容	既存住宅個人間売買瑕疵保険(仲介事業者コース) 【給排水管路検査】	住宅分類	共同住宅(住戸)
------	--------------------------------------	------	----------

検査項目

検査員チェック欄 凡例:「適合:○」、「不適合:×」、「該当なし:／」、「不明・未確認:未」
確認方法:()内の確認方法は、補足確認を実施した場合を示す。

項目	内容		検査員 チェック欄	確認方法
設備01 管路	給排水管路 (給水管、給湯管、 排水管及び汚水管、 雨水縦樋)	共通	①詰まり、水漏れ、変形、損傷、著しいさび、腐食又は接続不良がない事	○ <input checked="" type="checkbox"/> 目視 <input type="checkbox"/> 書類 <input type="checkbox"/> 触診
		給湯・ 給水	①吐水時に赤水が出ない事 ※透明コップに採り、二杯目で赤水の有無を確認する	○ <input checked="" type="checkbox"/> 赤水確認
		排水・ 汚水	①排水時に水の滞留、逆流又はあふれがない事	○ <input checked="" type="checkbox"/> 排水確認 <input type="checkbox"/> 触診

SAMPLE



検査項目別紙(1/2)

検査内容	建物状況調査 非破壊検査(リバウンドハンマー検査)	住宅分類	共同住宅(住戸)
------	------------------------------	------	----------

※検査員チェック欄記入例 [適合:○、不適合:×]

検査実施の有無(有・無)

検査項目(非破壊検査詳細) 【検査対象:最下階】

検査箇所(3階メーターBOX内)

項目	内容	検査員 チェック 欄	確認 方法																																								
リバウンド ハンマー試験	<p>・打撃ポイントの相互間隔は25~50mmします。 ・有効測定数を9箇所とします。(平均値±20%以上となる測定点は異常値として除外します) ・測定面が水濡れしている場合は、測定値+5して下欄に記入します。</p> <table border="1" style="width:100%; text-align:center;"> <tr> <td>1</td><td>2</td><td>3</td><td>4</td><td>5</td><td>6</td><td>7</td><td>8</td><td>9</td><td>10</td> </tr> <tr> <td>50</td><td>46</td><td>50</td><td>56</td><td>52</td><td>48</td><td>45</td><td>52</td><td>50</td><td></td> </tr> <tr> <td>11</td><td>12</td><td>13</td><td>14</td><td>15</td><td colspan="5"></td> </tr> <tr> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td colspan="5"></td> </tr> </table> <p>測定値</p>	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	50	46	50	56	52	48	45	52	50		11	12	13	14	15																○	☑ 計測
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10																																	
	50	46	50	56	52	48	45	52	50																																		
11	12	13	14	15																																							
<p>・測定値の 有効範囲</p> <table style="margin-left: 20px;"> <tr> <td>+20%:</td> <td>58.0</td> </tr> <tr> <td>-20%:</td> <td>39.0</td> </tr> </table> <p>・測定点の平均値: 49 (小数点以下切り捨て)</p> <p>・異常値(平均値±20%以上)を除外した上で、9箇所の有効測定値を確保します。採用した値は上表の測定値に「○」を付けて明示します。なお、有効測定値の平均値を反発度(R0)とします。</p> <p>・反発度R0(平均値): 49 (小数点以下切り捨て)</p>	+20%:	58.0	-20%:	39.0	○	☑ 算定																																					
+20%:	58.0																																										
-20%:	39.0																																										
<p>※原則、角度補正のないように測定します(補正数値は下表2-2を参照)</p> <p>角度補正(R1) <input checked="" type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり 補正値(R1)= 0.0 (角度 約 _____°)</p>	○	☑ 算定																																									
<p>推定式による算定</p> $\begin{aligned} \text{算定式}(F_c) &= 1.27(R_0 + R_1) - 18.0 \quad [\text{N/mm}^2] \\ &= 1.27 \times (49 + 0.0) - 18.0 \\ &= 44 \quad [\text{N/mm}^2] \geq 21 \quad [\text{N/mm}^2] \end{aligned}$	○	☑ 算定																																									

<補正>リバウンドハンマーの打撃角度と補正値R1の関係
機器の水平使用以外の測定においては、打撃角度補正表で測定値を補正します。

反発度 (R0)	傾斜角に対する補正値(R1)				
	+90°	+45°	±0°	-45°	-90°
25	-6.4	-4.2	補正なし	+3.0	+4.1
30	-6.0	-3.9		+2.8	+3.8
35	-5.3	-3.7		+2.7	+3.6
40	-4.7	-3.4		+2.5	+3.4
45	-4.3	-3.0		+2.4	+3.1
50	-4.0	-2.7		+2.3	+2.9
55	-3.5	-2.3		+2.1	+2.6

※測定面に対して常に垂直に打撃します



検査項目別紙(2/2)

検査内容	建物状況調査 非破壊検査(リバウンドハンマー検査)	住宅分類	共同住宅(住戸)
------	------------------------------	------	----------

※検査員チェック欄記入例 [適合:○、不適合:×]

検査実施の有無(有・**無**)

検査項目(非破壊検査詳細) 【検査対象:最下階から2層目】

検査箇所()

項目	内容	検査員 チェック 欄	確認 方法																																								
リバウンド ハンマー試験	<p>・打撃ポイントの相互間隔は25~50mmします。 ・有効測定数を9箇所とします。(平均値±20%以上となる測定点は異常値として除外します) ・測定面が水濡れしている場合は、測定値+5して下欄に記入します。</p> <table border="1" style="width:100%; text-align:center;"> <tr> <td>1</td><td>2</td><td>3</td><td>4</td><td>5</td><td>6</td><td>7</td><td>8</td><td>9</td><td>10</td> </tr> <tr> <td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td> </tr> <tr> <td>11</td><td>12</td><td>13</td><td>14</td><td>15</td> <td colspan="5"> </td> </tr> <tr> <td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td> <td colspan="5"> </td> </tr> </table> <p>測定値</p> <p>・測定点の平均値: _____ (小数点以下切り捨て)</p> <p>・測定値の有効範囲: $\begin{matrix} \rightarrow +20\%: \\ \rightarrow -20\%: \end{matrix}$ _____</p> <p>・異常値(平均値±20%以上)を除外した上で、9箇所の有効測定値を確保します。採用した値は上表の測定値に「○」を付けて明示します。なお、有効測定値の平均値を反発度(R0)とします。</p> <p>・反発度R0(平均値): (小数点以下切り捨て)</p>	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10											11	12	13	14	15																	<input type="checkbox"/> 計測
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10																																	
11	12	13	14	15																																							
補正值	<p>※原則、角度補正のないように測定します(補正数値は下表2-2を参照)</p> <p>角度補正(R1) <input checked="" type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり 補正值(R1)= 0.0 (角度 約 _____ °)</p>		<input type="checkbox"/> 算定																																								
推定式による算定	<p>算定式(Fc) = 1.27(R0+R1)-18.0 [N/mm²]</p> <p>= 1.27 × (_____ + 0.0) - 18.0</p> <p>= _____ [N/mm²] ≥ 21 [N/mm²]</p>																																										

<補正>リバウンドハンマーの打撃角度と補正值R1の関係

機器の水平使用以外の測定においては、打撃角度補正表で測定値を補正します。

反発度 (R0)	傾斜角に対する補正值(R1)				
	+90°	+45°	±0°	-45°	-90°
25	-6.4	-4.2	補正なし	+3.0	+4.1
30	-6.0	-3.9		+2.8	+3.8
35	-5.3	-3.7		+2.7	+3.6
40	-4.7	-3.4		+2.5	+3.4
45	-4.3	-3.0		+2.4	+3.1
50	-4.0	-2.7		+2.3	+2.9
55	-3.5	-2.3		+2.1	+2.6

※測定面に対して常に垂直に打撃します



検査写真配置図(基本)



建物外観



外壁開口部



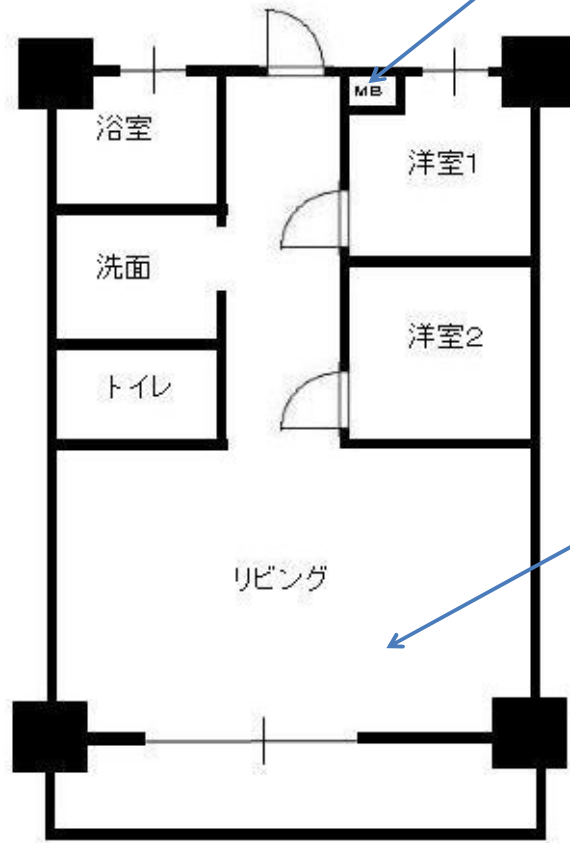
外壁一般部



基礎立ち上がり



非破壊検査



居室1(リビング)

SAMPLE



検査写真シート(基本)	住宅分類	鉄筋コンクリート造
		共同住宅(住戸)

写真内容

写真番号	1	部位: 建物全景
------	---	----------



備考		
----	--	--

写真番号	2	部位: 1階立ち上がり(外部)
------	---	-----------------





備考		
----	--	--



検査写真シート(基本)	住宅分類	鉄筋コンクリート造
		共同住宅(住戸)

写真内容

写真番号	3	部位:外壁(一般部)
		
備考		
写真番号	4	部位:外壁(開口部)
		
備考		





検査写真シート(基本)	住宅分類	鉄筋コンクリート造
		共同住宅(住戸)

写真内容

写真番号	5	部位:内部 居室1
		
備考		
写真番号	6	部位:非破壊検査実施状況(コンクリートテストハンマー)
		
備考		



検査写真配置図(給排水管路等)



浴室



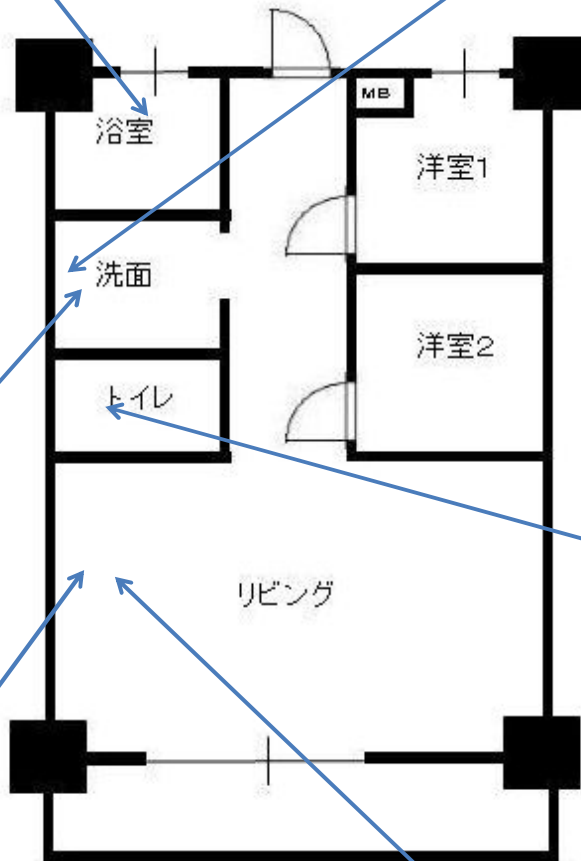
洗面配管



洗面



トイレ



キッチン




キッチン配管

SAMPLE

検査写真シート(給排水管路等)	住宅分類	鉄筋コンクリート造
		共同住宅(住戸)



写真内容

写真番号	1	キッチン
		
備考		
写真番号	2	キッチン配管
		
備考		

SAMPLE

検査写真シート(給排水管路等)	住宅分類	鉄筋コンクリート造
		共同住宅(住戸)

写真内容

写真番号	3	洗面
		
備考		
写真番号	4	洗面配管
		
備考		

SAMPLE

検査写真シート(給排水管路等)	住宅分類	鉄筋コンクリート造
		共同住宅(住戸)

写真内容

写真番号	5	浴室
		
備考		
写真番号	6	トイレ
		
備考		

SAMPLE

あんしん既存住宅個人間売買瑕疵保険(仲介事業者コース) 検査指摘事項のご連絡

＜ 宛先 ＞

株式会社安心住建 御中

申込担当 氏名 様

TEL: 082-0000-1111

FAX:

＜ 発信元 ＞

株式会社 住宅あんしん保証 技術管理部

TEL: 03-3562-8127 FAX: 03-3562-8045

Email: gkanri@j-anshin.co.jp

住所: 〒104-0031

東京都中央区京橋1-6-1

三井住友海上テプコビル6F

拝啓 貴社ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。先日実施されました検査に関しまして、現場検査員より下記のとおり指摘を受けましたので、ご連絡致します。弊社では、指摘事項が改善されたことを確認するまでは保険のお引受けは致しかねますので、下記指摘事項の内容をご確認の上、弊社まで速やかに改善資料をご返送(FAX・メール・郵送等)くださいます様よろしくお願い申し上げます。

敬具

受付番号	TMXX190310683A	所有者等	住宅あんしんマンション
検査実施日	2018/7/30	検査内容	戸)管)中古現場検査(通常検査)
検査結果	下記、改善報告及び写真を提出してください。		
指摘事項内容	①リビング内壁 水染みあり ②バルコニー部 シーリング劣化あり		

改善結果報告書

※恐れ入りますが、以下の項目をご記入の上、弊社までご返送(FAX・メール等)ください。

※報告不要とさせていただいた場合は弊社へのご返送は不要です。 ※引渡日前の日付をご記入ください。

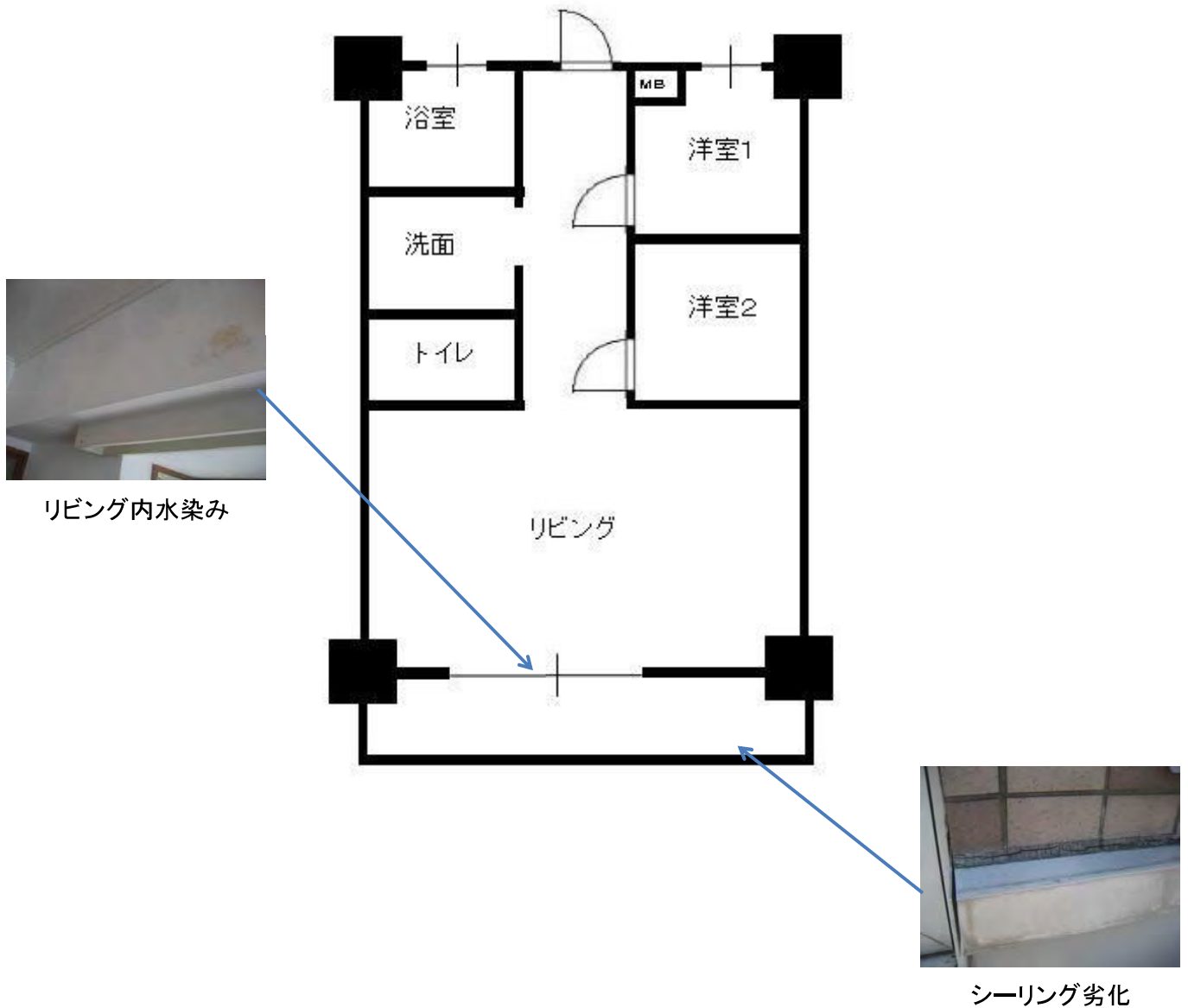
施工管理者名: _____ 是正実施日: _____ 年 月 日

指摘事項に対し、是正写真を提出した
 変更図面を本紙(検査指摘事項のご連絡書)兼改善結果報告書に提出した
 その他指摘事項について、次のとおり改善した

※ 該当する項目の口欄にチェックを入れてください。

※ ご報告いただいた内容に特に問題がない場合には検査合格となり、あんしんWebシステムより検査完了証の発行が可能となります。あんしんWebシステムをご利用にならない場合には、取次店にご用命ください。

検査写真配置図(劣化事象等)



SAMPLE

検査写真シート(劣化事象等)	住宅分類	鉄筋コンクリート造
		共同住宅(住戸)

写真内容

写真番号	1	①リビング内壁水しみあと
		
備考		
写真番号	2	②バルコニー防水層シーリング劣化
		
備考		

SAMPLE

■ お問い合わせ先



株式会社住宅あんしん保証

〒104-0031 東京都中央区京橋1-6-1 三井住友海上テブコビル6階
tel.03-3562-8127 fax.03-3562-8045

ホームページ <https://www.j-anshin.co.jp/>

メールアドレス jsekkei@j-anshin.co.jp

